

平成29年度自己評価の結果について

(公表シート 様式 4)

学校法人旭川カトリック学園 旭川天使幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・学校教育法に基づき幼児を教育し、キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育む。
- ・キリストによって示された神の愛を知り、他者への祈りを通して世界観を持つ。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認することで、本園としてのビジョンを明確化する。
- ・幼児教育が人間形成の根を作る時期であることを教師と保護者が共有し、子どもを他者と比較することなく育てる。
- ・宗話やお部屋で、園児が他者のために祈る体験を多く持つ。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	年間カリキュラム、月案、週案をたて、計画的に保育を進めることができた。幼児の実態や周囲の状況の変化、季節の変化などにも柔軟に対応した保育を行った。楽しくのびのびと遊ぶことができる環境作りにも配慮していくことができた。
2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	一人ひとりの園児をよく観察し、話をよく聞き思いを受け止め、園児と共感しながら保育活動を行った。園児について保育者同士で話し合い共通理解をするよう心がけることもできた。遊具の点検、危険箇所がないかの確認を定期的に行い、安全管理に配慮をした。
3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	行事の『企画－実施－評価』の徹底を今年度も計り、行事の充実と教師の資質向上を目指した。また、園児の成長を自分の喜びと感じ、園児と一緒に生活を創り出すことを楽しいと感じることで、生き甲斐を持って保育に取り組むことができた。
4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。	保護者に個々の園児の様子を伝えていくよう、連絡を密に取っていく努力をした。また保護者からの相談や要望も出しやすいように、普段からの声かけやアンケートなどに取り組んだ。
5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。	市内の姉妹園や聾学校との交流を行っている。また小学校との交流や中学生の職場体験の受け入れなども行い、積極的に関わる努力をした。

<p>6 研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<p>保育のあり方、園児理解、また来年度改訂される教育要領についてなど、研修会に参加して学ぶことができた。地域社会との連携や子育て支援、危機管理対応など研修が不十分なものがあった。</p>
<p>7 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<p>園便りやクラス便り、週予定の発行を定期的に行うことができた。ホームページのブログ更新もしっかり行ったため、保護者や園を探している方々などにも園の様子を伝えることができた。今後も個人情報保護にも配慮しながら、できるだけ情報発信を行いたい。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度は学園内の人事異動などにより園長はじめ教員の異動人事があり、まず職員間や保護者との関わりを築くところからスタートした。取り組むべき課題について、全教職員が共通理解することができるよう話し合いを持ってきた。それぞれ自己評価し、取組み状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
安全管理	安全管理に係る研修や研究をする時間を十分とることが出来ていないので、計画的に取り組みたい。施設面での対応と、教職員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの見直しを行っていききたい。
特別支援教育	幼児に対応した個別の指導計画の作成を検討するとともに、医療・福祉の関係機関との連携をどのようにするかを合わせて検討したい。また、当該児が進学する小学校との連携を密接にしていきたい。特別支援についての研修はこれからも継続して参加し、知識と理解を深めていきたい。
園に対する保護者の満足度の把握	保護者からの意見を聞く機会を引き続き作っていききたい。本学園の建学の精神や本園の特色を大切にしつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められるカトリック幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。

6. 学校関係者の評価

- ◎ 保育の計画性
 - ・今年度は園外保育が多くありがたかった。
 - ・行事では、日々の保育の様子や子どもの成長を感じられよかった。また、家族も楽しく参加することが出来た。
 - ・祖父母や保護者参観日は、平日の自由参観日のような普段の様子が見たかった。
- ◎ 保育の在り方、幼児への対応
 - ・今年度は職員の数も増え、保育が手厚くなったように感じる。
 - ・子どものけんかやけがへの対応に不満を感じたことがある。
- ◎ 保護者への対応及び家庭との連携

- ・仕事をしているので急な学級閉鎖の時こそ、早めの緊急連絡用のメールが欲しかった。
- ・通園バスに対して不公平を感じる。

◎ 情報公開

- ・ブログを楽しみにしている。これからもたくさん更新されているとうれしい。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽ASG有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間周知されており、共通理解に立って効率的な運営に努めている。